

## 2～6 リーメンビューゲル装具装着時のパンフレットの再検討

整外来 ○笠原真里子 渡辺 藤方 神山  
倉島 高階 吉田 立石

### はじめに

整形外科領域における、先天性疾患の代表的なものに、先天性股関節脱臼があげられる。本疾患は治療開始時期と治療成績には、密接な関係があり、出来るだけ早期発見し、正しい状態におかれれば小児の旺盛な発育の力で、関節機構が正常な発達をして治癒することが出来る。現在では、乳児検診が徹底されているため、治療としてはリーメンビューゲル装具によるものが、最も広く用いられている。1才以下の乳児は80～90%のものが自発的に整復される。このリーメンビューゲル装具は、両肩からズボンつりのように両下股をつり上げ、股関節が90°位屈曲しているようにしたものである。現在リーメンビューゲル装具による家庭治療が主になっているため、外来の特殊性から、家族指導が非常に大切なことと思われる。しかし、当外来においては、看護婦間の統一された指導がなされていなかった。そこで、先天性股関節脱臼に対する認識を高め、充実した家族指導をしていきたいと思い、このテーマに取り組んだ。

### I 研究方法

- (1) リーメンビューゲル装具装着時のパンフレットを作成し、看護婦間の統一された指導が出来るようデモンストレーションを行ない検討する。
- (2) 昭和56年から59年9月迄に受診した患者に、アンケートをとり問題点を分析する。対象患者32名  
アンケート回収率53%

### II 研究期間

昭和59年3月から11月14日迄

#### アンケート内容

1. 装具及び日常生活について言葉の説明だけで御理解いただけただけでしょうか
 

はい	76%
いいえ	24%
2. 装具をつけてぐずったりした時はどうなさいましたか
 

1 あやしておさまった	63%
2 一緒に泣いた	44%
3 ミルク、果汁などあげた	25%
4 ぐずりっぱなしにした	13%
5 装具をはずした	6%
6 外来に電話をして聞いた	0%
3. 装具をつけたまま入浴の指示を受けられた方のみお答え下さい（入浴指示を受けた方 63%）

- |   |                       |     |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | ベルトがかわきにくかった          | 75% |
| 2 | 衣服の着脱が大変だった           | 75% |
| 3 | 洗いにくかった               | 45% |
| 4 | その他 生乾きのまま装着して皮膚がただれた |     |
4. 成長発育について不安なことはありませんでしたか
    - 1 装着前に出来ていた、寝返り、ハイハイ、お坐りが出来なくなった。又、動かさなくなった
    - 2 身長の伸び体重の増加に影響があるのではないかと
    - 3 足の発達が止まってしまうのではないかと
    - 4 装具装着中でも月令にあった運動をさせてよいか
    - 5 うつぶせにさせてよいか
  5. その他の不安や知りたいこと気がついたことなどございましたら御記入下さい
 

不安な事	1 再度脱臼するのではないかと	
	2 装具はいつはずれるのか	
	3 レントゲンの回数が多くどの程度なら大丈夫なのか	
	4 脱臼がどのような経過で治っていくのかわからない	
	5 してはいけないことは何か（ベビーカーに乗せてよいか）	
	6 装具自体どんなものなのかわからなかったので写真でも絵でもあるとよい	
  - 気づいた事
 

1	ベルト自体が硬い	
2	お坐りしたら苦しいのではないかと	
3	金具のデコボコで寝ごちが悪いのではないかと	
  6. 日常生活の中で何が一番知りたいですか
    - 1 装具除去後本当に歩けるようになるのか
    - 2 将来スポーツなどの制限はないのか（たとえば高い所から飛び降る）
    - 3 レントゲンの撮り過ぎで将来母親になれないのではないかと
  7. 以上の事からリーメンビューゲル装具装着時のパンフレットがあった方がいいと思われませんか
 

はい	78%	どちらとも言えない	6%
いいえ	10%	無回答	6%

	<p style="text-align: center;">表1 アンケートをとる前に作成したパンフレット</p> <p style="text-align: center;">リメンビューゲル装具装着前及び装着後の注意事項 No.1</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オムツ、オムツカバーについて       <ol style="list-style-type: none"> <li>装具装着するまでのオムツの当て方 股を開いた状態（開脚位）が保てる様にオムツは、2～2枚を使用し前へ折り返し厚く広げて当ててください。</li> <li>装具装着後は股オムツにしてください。</li> <li>オムツカバーは、股関節脱臼予防用T字型のものを使用して下さい。 （デパートなど専門店で購入されています）</li> </ol> </li> <li>抱き方について       <ol style="list-style-type: none"> <li>抱き上げる時は、背中と股の間より、お尻の下に手を入れて抱き上げ、両足は広げて抱き片手は必ずお尻を支えて下さい。</li> <li>おんぶも構いませんが、やはり両足は広げる様にして下さい。</li> <li>両足を揃えたり、内側にもってきたり、横抱きしたりしないで下さい。</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: center;">リメンビューゲル装具装着当日について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>装具装着により機嫌が悪くなった場合       <ol style="list-style-type: none"> <li>一時的に（1～2日程度）機嫌が悪くなると思いますが、装具に慣れさせることが、大切ですので極力はすまない様にして下さい。</li> <li>機嫌が悪く、ぐずっているも1～2日程度で落ち着きますので、イライラせず、ゆったりとした気持ちで見守ってあげて下さい。</li> </ol> </li> <li>ミルクの飲みが悪くなった場合       <ol style="list-style-type: none"> <li>ミルクは飲めるだけの量で、回数を増したり薄めたりして様子を見て下さい。</li> <li>それでもミルクの量が少ない場合は、水分不足による脱水症になる恐れがありますので、体温を測り熱の状態をみながら、果汁を与えたり、湯ざましを与えたりして、水分を補給して下さい。</li> </ol> </li> </ol>
<p style="text-align: center;">No.2</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機嫌が悪く長くぐずっていたり、ミルクや果汁など飲まなかったり、熱が上がる様なことがありましたら、装具をはずしても構いません。 その場合       <ol style="list-style-type: none"> <li>どの様な状況で</li> <li>どれ位はすしていたか</li> <li>再びいつ装着したか</li> </ol>       など重要診断にいらっしやるか、次回予約診療にいらした時にその旨、医師にお話しして下さい。     </li> </ol> <p style="text-align: center;">リメンビューゲル装具装着後について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オムツ、オムツカバー及び抱き方については前記と同様にして下さい。</li> <li>着衣について       <ol style="list-style-type: none"> <li>下着は必ず木綿のものを着用して下さい。</li> <li>くつは、ゴムがゆるいか、ゴムを切ったハイソックスをはかせて下さい。</li> <li>上着は、上下別々のもので、ゆったりしたものを着用させて下さい。 （ロンパースは着用させないで下さい）</li> </ol> </li> <li>清潔について       <ol style="list-style-type: none"> <li>下着及びハイソックスは毎日交換し、股（ソケイ部）膝の裏の汗もなどに注意して、皮膚は常に清潔に保って下さい。</li> <li>入浴について 患者さんより入浴日を指定したり、装具をつけたまま入浴させたり、装具をはずして入浴させて良い場合などがありますので、装具をつけた当日には必ず医師より指示を受け指示とおりに行なって下さい。 入浴させる際は、両足を広げて入浴させて下さい。</li> </ol> </li> </ol>	<p style="text-align: center;">No.3</p> <p style="text-align: center;">装具をつけて入浴させる場合 装具は部分的にはずしながら衣服を脱着させて下さい。 （全部はすしての衣服の脱着はしないで下さい）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>リメンビューゲル装具について       <ol style="list-style-type: none"> <li>装具の取り扱い方をしっかり覚え、不明な点はそこで確認して、正しく扱うようにして下さい。</li> <li>装具のバンドの位置は装着当日に印をつけますので、医師の指示がない限り、印のついていない位置よりずらしたり、はずしたりしないで下さい。</li> <li>装具装着後は、バンドの圧迫による発赤や足先の色の変化（痛痺障害）などに注意して下さい。バンドのきつさは指が1本入る程度が目安です。</li> </ol> </li> <li>診療は原則として2週間毎に受けて下さい。 （装着当日に次回予約診療を取ります）</li> <li>装具装着後も、特に運動の制限はありませんので、子供が自分でする自由な運動はさせて下さい。</li> </ol> <p style="text-align: center;">その他、何か気がついた事、心配な事がありましたら、下記へ御相談下さい。</p> <p style="text-align: center;">月～金曜日 13:00～16:00</p> <p style="text-align: center;">東京医科大学病院 整形外科 電話 03-342-6111 内線 275</p>

### Ⅲ 考察

今回表Iにある、リメンビューゲル装具装着時の注意事項を、より良いものにするために母親よりアンケートをとった。その結果、1の問いに対し、理解出来たと答えた人が76%と、半数以上を占めている。しかし、4、5の問いに対し、正しい装具装着の仕方、取り扱い方、発達段階に応じた運動に関する事、また、疾患、装具の目的についてなどが、不安や理解出来なかったと答えている。

2に対して、装具装着当日に、機嫌が悪くなりぐずっ

てしまっただけに困り一緒に泣いた。ぐずった時は夜中でも、泣きやむまで抱っこしていたなど、母親及び家族の苦労がうかがえた。また、入浴1つとっても、ベルトを付けたままの入浴指示に対し、当外来では入浴に耐え、乾きやすい様に合成皮とビニールで作られている。それでもベルトが乾きにくかったと、ほとんどの人が答えていた。医療者側から見ると、装具装着における日常生活動作の、1つ1つが容易に出来るものと考えていたが、母親及び家族には、それ以上に、はかり知れない苦労があるのだと痛感した。

近年、先天性股関節脱臼について、病態、治療に関する情報が多く、保健所からの紹介がほとんどなため、ある程度の知識をもって、診療を受ける母親が多い。そのためか医師からの説明も簡潔的になりがちで、質問がないと理解されているものと、解釈してしまう現状もある。以上のことから考えて

- ① 先天性股関節脱臼と診断され、装具作製の指示が出た時点で、医師より病態及び装具の目的、必要性を具体的に説明する。
  - ② 日常生活動作1つ1つについても、パンフレットを渡し具体的に、時代、現実に合ったものを、説明指導する。たとえば、ベルトをつけたままの入浴後ベルトの乾燥には、ドライヤーを使う。ベビーカーを使用する場合は、短時間で足は出来るだけ開排の状態を保つ。お坐りは、子供独自在する分には構わないが、無理にさせない。などである。
  - ③ ①②の説明後、母親より理解が得られたかどうか、不安は何かを、確認しながらその場で解決出来るようにする。
  - ④ アンケートによって初めて、母親の思っていること、感じていることなどが解った訳だが、診察のたびに母親と医師及び看護間のコミュニケーションを図り、母親が何んでも話せる様な雰囲気づくりをする。たとえば、経過観察していく中で、レントゲン照射回数についてや、装具除去の目安などの不安や、理解出来ないことがあれば、その場で対処出来る様に努める。
- 以上、大きく分けて4点を取り上げた。これらは、全ての解決策とは思わないが、当面はこの4点を重点的に取り入れて行なっていきたい。またこれらは、看護婦のみでは改善出来ない問題なため、アンケート結果を含め研究内容を、医師に提示し考慮してもらいたいと考えている。

#### Ⅳ パンフレット改正内容（表Ⅰ参照）

先天性股関節脱臼の病態と装具の目的を、理解出来ない事から、いろいろな不安が上られている。そのため、医師の説明の他に母親及び家族が認識するために、リーメンビューゲル装具の目的を追加する必要があると考えた。

##### ① リーメンビューゲル装具の目的

股関節を開排位に保持して、ある程度の運動性を持たせ、徐々に治癒にもっていくと考えるものである。なぜならば、乳児の股関節は順応性が非常に高いので、整復位に保つと、その関係位置に応じた、股関節が形成されていくためである。

##### ② リーメンビューゲル装具装着当日について

1の1)、2)にある1～2日を、アンケート結果でほとんどの人が2～4程度ぐずったりしていたと、答えている。装具に慣れるまでに時間がかかっているため2～4日とす。

##### ③ リーメンビューゲル装具装着後について

2の3)を、上着は上下別々の物でも足は開排にするためその分のゆとりが必要である。ゆったりとした物以上に開排可能なゆとりを持つ物を、と追加する。

3の2)入浴について、装具は部分的にはずしながら、衣服を着脱させて下さい。をaとし、bに、ベルトの乾燥方法として、タオルで十分に水分を拭きとった後、ドライヤーを使用しても構いません。その際にはタオルで皮膚を覆い、やけど等に気をつけましょう。・生乾きのまま装具装着すると、皮膚がただれたり、かぶれたりする場合がありますので、十分乾燥させるか、タオルを使い吸湿出来るようにして下さい。と追加する。

##### ④ 4. リーメンビューゲル装具について

その中のバンドという言葉は、すべてベルトとする。2)装具のベルトは、縦ベルトとする。3)のベルトは足及び胸の横ベルトと追加する。さらにベルトのきつさは、指が1本位入る程度の目安で調節しても構いません。と追加する。4の4)として、背中ベルトが、左右交差して厚くなっていますので、圧迫されていないかどうか、時折見て下さい。と追加する。

⑤ bの追加として、装具装着前に出来ていた、寝返り、ハイハイ、お坐りが出来なくなったり、動かさなくなっても装具装着による一時的なものですので、心配はいりません。また、お坐りについては、子供がする分には構いませんが、無理にさせる必要はありません。とする。

⑥ 7. その他として、1)ベビーカーを使用する場合は、短時間で足は出来るだけ、開排の状態を保つようにして下さい。2)ベビーラックを使用する場合も、上記と同様にして下さい。と追加する。

#### おわりに

研究調査期間が短かったせいか、アンケートの回収期限も守られず、回収率53%と低かった。にもかかわらず、私達にとっては有意義であり、リーメンビューゲル装具に対する認識も、非常に高まったと思う。

今回は、リーメンビューゲル装具装着時の注意事項を改定する段階までで、再作成するには至らなかったが、今後も家族及び医師の、意見や考えを取り入れ、継続し、よりよい指導をしていきたいと考えている。